

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスティック

コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 平成22年2月2日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年3月21日～平成21年12月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,022		46		35		14	
21年3月期第3四半期	1,907	35.8	329	42.6	292	27.0	163	18.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	1,047.68	
21年3月期第3四半期	11,797.29	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	2,648	2,471	93.3	181,802.19
21年3月期	2,799	2,527	90.3	185,914.54

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,471百万円 21年3月期 2,527百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期				5,000.00	5,000.00
22年3月期					
22年3月期(予想)				5,000.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年3月21日～平成22年3月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,500	35.8	39	89.2	32	90.3	1		73.55

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	14,710株	21年3月期	14,710株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,113株	21年3月期	1,113株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	13,597株	21年3月期第3四半期	13,840株

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の悪化状況は依然として継続しているものの、製造業における生産においては、一部の業種で改善傾向の兆しが見えつつあり、輸出においても中国を筆頭にアジア向けが増加基調にあります。

当社の主力販売先であります自動車産業では、国内においては税制優遇効果で一部の車種においては好調な販売状況を示しておりますが、全体を押し上げるほどの効果もなく、依然販売低迷が継続しております。したがって新規設備投資案件も少なく、設備の改造案件や小口の設備案件が散発に発生する程度の状況であります。

海外市場におきましては、北米市場では経済情勢の改善も見えない中、日本と同様販売低迷が続いており、設備投資も大型の新規案件は当面望めない状況にあります。

他方、中国市場については引き続き設備投資案件も旺盛な状況にありますが、数少ない活況を示す市場でもあり、競合他社による競争激化の状況にあります。

このような状況下、当社におきましては、引き続き自動車産業以外の産業への市場開拓に注力しつつ、中国市場及び回復傾向にある韓国市場へのアプローチ強化、インド、ブラジルを含む今後成長が望める海外市場への販売力強化のための販売代理店の選定、見直し、教育を実施してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高1,022百万円、営業利益46百万円、経常利益35百万円、四半期純利益14百万円となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、2,648百万円と前事業年度末比151百万円の減少となりました。

これは流動資産については、受取手形及び売掛金の減少などの影響により1,857百万円と前事業年度末比149百万円の減少となり、固定資産については、790百万円と前事業年度末比1百万円の減少となったことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、176百万円と前事業年度末比95百万円の減少となりました。

これは主に未払法人税等が72百万円減少したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,471百万円と前事業年度末比55百万円の減少となりました。

これは利益剰余金が53百万円減少したことなどによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は446百万円となり、前事業年度末に比べて56百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは155百万円の収入となりました。

これは主に、税引前四半期純利益38百万円、売上債権の減少額124百万円、たな卸資産の減少額80百万円などの増加要因があり、賞与引当金の減少額12百万円、法人税等の支払額80百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは16百万円の支出となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入51百万円の増加要因があったものの、定期預金の預入による支出51百万円、有形固定資産の取得による支出11百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは68百万円の支出となりました。

これは、配当金の支払額68百万円の減少要因があったことによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間につきましては、国内自動車産業の設備投資が減少した状態が続いており、今後も引き続き厳しい市場環境が予想されます。

このような状況下ではありますが、当社は積極的な製品開発と販売活動を継続していく所存であり、通期業績予想につきましては、平成21年10月28日に公表いたしました予想値から変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当事業年度から適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ4,067千円減少しております。

リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期会計期間から適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による損益への影響はありません。

5.【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	497,568	440,918
受取手形及び売掛金	803,031	927,032
製品	92,880	99,975
原材料	377,416	480,857
仕掛品	79,028	49,295
その他	42,815	47,412
貸倒引当金	35,325	38,332
流動資産合計	1,857,415	2,007,159
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	127,143	136,400
有形固定資産合計	540,384	549,640
無形固定資産	13,757	14,109
投資その他の資産		
その他	237,213	229,142
貸倒引当金	500	500
投資その他の資産合計	236,713	228,642
固定資産合計	790,855	792,391
資産合計	2,648,271	2,799,551

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,534	45,423
未払法人税等	9,000	81,000
賞与引当金	4,886	17,507
その他	40,685	76,302
流動負債合計	117,106	220,233
固定負債		
退職給付引当金	59,200	51,438
固定負債合計	59,200	51,438
負債合計	176,306	271,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,491,472	1,545,212
自己株式	217,684	217,684
株主資本合計	2,470,537	2,524,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,426	3,602
評価・換算差額等合計	1,426	3,602
純資産合計	2,471,964	2,527,879
負債純資産合計	2,648,271	2,799,551

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)
売上高	1,022,049
売上原価	699,642
売上総利益	322,407
販売費及び一般管理費	276,217
営業利益	46,189
営業外収益	
受取利息	228
受取配当金	496
デリバティブ評価益	5,490
その他	1,672
営業外収益合計	7,887
営業外費用	
為替差損	18,423
営業外費用合計	18,423
経常利益	35,653
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2,889
特別利益合計	2,889
税引前四半期純利益	38,543
法人税、住民税及び事業税	8,795
法人税等調整額	15,502
法人税等合計	24,298
四半期純利益	14,245

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	38,543
減価償却費	18,916
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,007
賞与引当金の増減額(は減少)	12,621
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,762
受取利息及び受取配当金	724
為替差損益(は益)	13,563
デリバティブ評価損益(は益)	5,490
売上債権の増減額(は増加)	124,000
たな卸資産の増減額(は増加)	80,802
仕入債務の増減額(は減少)	17,111
その他	43,680
小計	235,176
利息及び配当金の受取額	790
法人税等の支払額	80,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	51,000
定期預金の払戻による収入	51,000
有形固定資産の取得による支出	11,753
無形固定資産の取得による支出	2,480
投資有価証券の取得による支出	2,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	68,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,193
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,563
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	56,649
現金及び現金同等物の期首残高	389,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	446,568

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成20年3月21日 至 平成20年12月20日)
	金額(千円)
売上高	1,907,104
売上原価	1,218,780
売上総利益	688,324
販売費及び一般管理費	358,906
営業利益	329,417
営業外収益	1,180
営業外費用	38,519
経常利益	292,078
特別損失	1,750
税引前四半期 (当期)純利益	290,328
法人税、住民税 及び事業税	127,053
四半期(当期)純利益	163,274

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成20年3月21日 至 平成20年12月20日)	
	金額(千円)	
営業活動による キャッシュ・フロー		
1 税引前四半期純利益		290,328
2 減価償却費		28,566
3 貸倒引当金の増減額(は減少)		32,489
4 賞与引当金の増減額(は減少)		14,780
5 役員賞与引当金の増減額(は減少)		9,250
6 退職給付引当金の増減額(は減少)		6,259
7 受取利息及び受取配当金		917
8 支払利息		1,319
9 為替差損益(は差益)		15,387
10 投資有価証券売却益		36
11 デリバティブ評価損		9,390
12 投資有価証券評価損		1,750
13 売上債権の増減額(は増加)		111,896
14 たな卸資産の増減額(は増加)		2,953
15 仕入債務の増減額(は減少)		38,625
16 未払消費税等の増減額(は減少)		6,302
17 その他資産の増減額(は増加)		22,597
18 その他負債の増減額(は減少)		7,041
小計		324,639
19 利息及び配当金の受取額		855
20 利息の支払額		1,373
21 法人税等の支払額		178,795
営業活動による キャッシュ・フロー		145,326
投資活動による キャッシュ・フロー		
1 定期預金の預入による支出		62,000
2 定期預金の払戻による収入		62,000
3 有形固定資産の取得による支出		16,110
4 無形固定資産の取得による支出		15,324
5 投資有価証券の取得による支出		3,730
6 投資有価証券の売却・償還による収入		75
投資活動による キャッシュ・フロー		35,090
財務活動による キャッシュ・フロー		
1 短期借入金の増減額		100,000
2 自己株式の取得による支出		5,940
3 配当金の支払額		68,996
財務活動による キャッシュ・フロー		174,936
現金及び現金同等物に係る換算差額		15,387
現金及び現金同等物の増減額(は減少)		80,088
現金及び現金同等物の期首残高		255,201
現金及び現金同等物の四半期末残高		175,112